

令和2年4月27日

保護者様

東振ゼミナール・ステップ個別指導学院
代表取締役 木暮 育男

東振ゼミナールのコロナ対策についての 基本方針について

令和2年3月から始まった公立学校をはじめとする「小中高一斉休校措置」は、何とゴールデンウィーク終了まで継続になりました。2ヶ月以上ですね。また、東京をはじめとした緊急事態宣言は、大都市だけでなく、日本中に広まり大きな影響をもたらしています。

そして、この新型肺炎ウイルス（コロナウイルス）の影響は世界中に多大な感染者数と死者数をもたらし続けています。日本においても感染者が様々な地域で続出しています。

いつまでこのような状況が続くのでしょうか？

群馬でも3月7日では1名だった感染者は、4月11日には44名になり、4月20日現在、120名を超えました。（4月20日現在）

介護施設などのクラスター感染が半分以上を占めているといっても、更に増えるのは時間の問題でしょう。

ドラッグストアや、日用品量販店では、マスクや除菌スプレーや除菌シートなどは全くなくなり、今現在も手に入らない状況が続いています。

子どもたちも、長い期間の自宅待機に飽き飽きしているのではないのでしょうか？

先日13日から保護者様に配布いたしました「校舎運営指針について」というお知らせにも書きましたが、私たちの塾の基本方針は以下の通りです。

「通いたいという生徒が一人でもいる限り、そして、国からの休業要請や当校から感染者が出ない限り、私たちの塾は感染予防対策に最大限の留意をしながら塾の活動は継続して行います」（勿論、法律の許容範囲内で開校要件を遵守した上で）私たち塾の関係者は、民間の教育従事者です。

コロナ対策をしているといっても、自分がうつらないよう、そして、生徒や仲

間の講師にうつさないよう、最大限の注意を払いながら毎日仕事を行っています。

まさに、危険の最前線で、命がけで、教育という崇高な仕事を行っているといっても過言ではありません。

その行動を支えてくれているのは何か？

それは、塾生のほとんどが、このような状況でも今でも塾に通ってきってくれるからです。

「勉強したい！少しでも前へ進みたい！この機会に復習したい！苦手を失くしておきたい！先生に会いたい！」

そんな生徒たちの想いや、保護者様の要望に少しでも応えたいからです。

私は、「**教育は未来への希望**」であり、「**教育は進歩への土台**」だと思っています。

敗戦国の日本がめざましい速度で戦後立ち直れたのも、それまでの教育がしっかりとなされていたから復興できたのです。

また、江戸時代も寺子屋をはじめとした、あらゆる場所で子どもたちを成長させる学問がなされていました。それが、明治維新後の日本の殖産興業と富国強兵をもたらし、他の列強国に恥じない国力をもたらしたのです。

いかなる時も、どんな国難があろうとも、一刻も**教育を停滞**させてはならない・・・そう本気で思っています。

それが、私たち民間の教育者の使命であり、塾を仕事としている私たちの誇りなのです。

ゴールデンウィーク明けからは、より安全対策に留意し一人一人に対応した校舎内の指導をはじめ、オンライン学習や、メール、FAX、電話対応はもちろん、各校舎の宿題対応、計画学習の相談、映像教材の推奨など、きめ細やかな生徒対応、保護者対応を行ってまいります。

コロナ感染の状況下で、当塾も可能な限りの方法、手段を模索して、少しでも生徒の皆さんの為、保護者様の為に頑張ります。

ご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。

なお、4/29(水)～5/6(木)まで校舎はゴールデンウィーク休暇となります。

5/7(木)からの授業は各校舎ごとに特別指導、オンライン指導などを交えて行います。

敬具

5月6日からは以下の体制で運営していきます。

「学び」は未来の為にある！

「東振ゼミナール」「ステップ個別指導学院」は生徒の為にあります！！

「生活習慣を正して、やる気にさせます！ 学力を伸ばします！」

いろいろな形で私たちの塾を活用ください！通塾・在塾の併用も可能です！！

通塾利用した～い！	在宅利用した～い！
はい、いつからでもOKです！	はい、いつからでもOKです！
皆様に安心の10のお約束	皆様に安心の10のお約束
1、体温チェックと体調毎日報告	1、オンライン指導でやる気アップ！
2、マスク着用（忘れた生徒はプレゼント）	2、宿題プリントを配布&採点
3、手洗い厳守・手指の消毒厳守	3、確認テストの実施、採点
4、こまめな換気5回～10回 （窓を開放したままの指導も有り）	4、教科書準拠の映像指導も有 （教科書と同じ内容だから安心）
5、毎日の校舎内清掃の徹底	5、電話相談、生活相談もOK
6、ルール守って自習室利用OK	6、メール相談、質問もOK
7、生徒間の距離は2m以上	7、FAX相談、質問もOK
8、一部屋に生徒は1名～4名	8、個人別課題の定期チェック
9、間仕切シートなどで感染防止	9、学習進捗度チェックOK
10 オンライン指導への切替OK	10 通塾利用への切替OK

もちろん、通塾・在宅どちらの方法でも、生徒の学力を高め、やる気を引き出し成績を必ずアップさせます。講師一同より ※上記は校舎により変動有

私たちに今、出来ることは何か？

「塾を閉めて家にいること」・・・それも選択肢の一つだろう。

「でも、こういう時こそ、俺たち民間の教育関係者が教育現場を守らなければならないのではないのか？」・・・そう思う自分がいた。

「こんな時に、塾をやるんですか？閉めたほうがいいですよ！」「危ないですよ！」「何かあったらどうすんだね？」

そう、忠告してくれた知人や先輩は多かった。

「でもね・・・学校は3月からずっと休みだよ。生徒たちが家で一人で勉強するといっても限界があるよ」「第一、二ヶ月以上も、5月末までになれば三ヶ月も学校がずっと休みで・・・学校は休むことの他に何も出来ないのか？・・・」

家にじっとしているという選択肢は確かにある。

そのほうが安全だし、国のコロナ対策には適しているのだろう。

「でもね？・・・」

そんな何十回もの自問自答の末に、たどり着いた結論は次のような自分自身の声だった。

『俺たちは民間の学習塾をやってんだよ！学校の先生達とは違った生徒への貢献の仕方が、実はいくらでもあるはずさ！

こういう時こそ、創意工夫して、やれるだけのことを、できるところまで思いっきりやってみようよ！

危険の最前線・・・つまり、いつコロナの感染者になってしまうかもしれないリスクや、生徒にうつしたりするリスクもある。そうなった場合の、世間からの誹謗中傷・・・「あいつらは、こんな時に開けてるから、こうなったんだ！」それらを恐れて、何もしない、できない・・・ただ、じっとしている・・・なんていうのは俺は嫌だ！

それこそ、戦わずして、コロナに負けたことになる！

感染者が出てしまったら、その時は、該当する校舎は嫌でも閉めざるを得ない。

でも、感染者は出ないかもしれない・・・やってみなければ分からない・・・

先が見えないのならば、やってみよう！
全責任は、塾長の私が頭を下げて取ればいい』

「やるだけの安全対策をやって、それでも感染が出てしまったら、責任は私が取りますから、やれるところまでやってみましょう！」そう言って、社内の全教室長に理解と協力を求めた。

コロナの騒ぎがあっても、何も無かったかのように、今でも、普通に通塾してくれる生徒がたくさんいる。・・・

「塾に通いたい、先生に会いたい、勉強したい、テストで良い点がとりたい、志望校に合格したい・・・・」一人でもそういう生徒が塾に来てくれる限り、私たちは、最大限の安全対策を講じた上で、塾は開け続けよう・・・と覚悟を決めた。

『よし！私たちの塾は、閉めることなく今まで通りやり続けよう！
絶対にコロナに負けるな！コロナに負けてたまるか！』

私は、元来、教育と福祉の仕事は、「自ら閉めます」とは言えない仕事だと思っています。

だからこそ、当塾は、感染者が出てしまうまでは、国家権力からの営業停止がかかるまでは、今まで通り継続するという道を選択しました。

もちろん、新たな「オンライン指導」や「映像指導」などの選択肢も増やした上で、「通塾利用生」も、「在宅利用生」も学習出来るようにしてあります。

今まで以上に、保護者や生徒の声にも真摯に耳を傾けながら、あらゆる工夫を凝らしながら、生徒に「喜んでもらう、理解してもらう、元気になってもらう、やる気になってもらう」ことを第一に考えています。

※基本的に、国が定めた、この時期の開校基準を守りながら行っています。

最後に、少し青臭いようですが・・・

『私たちスタッフ一人ひとりが、恐怖と危険の最前線に踏ん張って、目の前の生徒の学力を、日本の教育を、群馬の教育を守っていくのだ！

私たちスタッフ一人ひとりが、教育崩壊を阻止し、そして、私たちスタッフ一人ひとりが、生徒たちの明日を、生徒たちの未来を、生徒たちの笑顔を守っていくのだ！』

そんな気概を持ちながら、生徒と保護者に日々真剣に向かい合うことが、今、

私たちに出来ることであり、私たちの目の前の仕事であり、私たちの誇り（プライド）なのです。

東振ゼミナール・ステップ個別指導学院 ・チャレンジ進学ゼミ

塾長 木暮育男
各校舎 教室長一同